

ふれあい

社会福祉法人 多治見市社会福祉協議会広報紙 第380号

共同募金

みんなで赤い羽根を

この新聞紙は皆様からの
社会費と共同募金の
配分を受けて発行しています。



今月の内容

- サンホーム滝呂 春まつり報告 1
- 事業計画・予算報告 2~3
- 回収ボランティアの紹介 ○ ボランティア団体の紹介 4
- 障害者福祉センター レクリエーション交流会のお知らせ 5
- 寄付報告 5
- 福祉行事の案内 ○ 受動喫煙防止啓発記事 6
- 子育て支援センター情報 ○ 5月の相談日 7
- “災害に強いまちづくり”に向けて! ○ 地域福祉協議会の紹介 8

3月9日にサンホーム滝呂でふれあい春まつりを開催しました。多くの方々が来場し賑やかなおまつりになりました。

写真はバルーンパフォーマンスの様子



このマークは社会福祉協議会の「社」を圖案化し「手」をとりあつて明るくあわせな社会を建設する姿」を表現しています。

<http://www.t-syakyo.or.jp>
info@t-syakyo.or.jp

2019年度 多治見市社会福祉協議会 事業計画と予算



基本方針

平成の時代の30年間は、福祉の様々な制度改革が行われてきました。特に本会の事業運営が大きく影響を受けた制度としては、介護保険制度、障害者総合支援法、子ども・子育て支援新制度、生活困窮者自立支援制度などがあげられます。これらの制度改革には、“措置から契約へ”、“選別主義から普遍主義へ”、“保護的福祉から自立支援へ”、“国から地方自治体が担う分権的福祉へ”という流れが見られ、それに伴って、我々のサービスの提供体制も見直しを余儀なくされてきました。また、改革の背景には、少子高齢化の進展、家族形態の変化、人々の生き方・暮らし方の多様化、地域コミュニティの脆弱化など、社会を取り巻く情勢が大きく変化してきたことが影響していると言えます。今後、目の前には、2025年問題やその先の2040年問題が待ち受ける中で、過去に例を見ないような新たな課題が発生し、更なる社会状況の変化とともに、制度改革が行われることでしょう。

昨年、法人化50周年を迎えた本会は、スローガンとして、『いままでも これからも 地域とともに』を掲げ、様々な記念事業を実施してまいりました。そして、これからも本会が目指すことは、地域に住んでおられるすべての方が、安心して暮らすことができる「福祉のまち」の実現を使命としていくことを再認識したところです。これには、新たな国の制度に対応していくことも当然のことながら、いつの時代も制度の狭間で困っている弱者にも目を向けていくことも忘れてはなりません。そして、公共性・公益性の高い団体として、住民主体の理念に基づき、誰もが安心して暮らすことのできる地域福祉を目指し、福祉課題の解決に向けて様々な事業・活動に取り組んでいく必要があります。地域福祉の実現化には、本会が長年培ってきた様々な機関や団体とのネットワークの活用が求められているところであり、総合的な相談支援や地域づくりの中核を担う組織として、市民の期待に応えてゆかねばなりません。

このようなことを受けて、今年度は次に掲げる項目を柱として事業を実施していきます。

重点項目

1 経営基盤の強化

法人化50周年記念として行った様々なイベントを機に、社会福祉協議会としての使命を再認識し、未来に向けて更なる組織の発展を目指すことを決意しました。将来訪れる節目の時期に、組織が安定した基盤を築いていられるよう、第4期経営改善計画を確実に実行し、経営体系の整備に着手していきます。

2 地域福祉活動の推進

昨年度に「第4期地域福祉活動計画」を策定しました。この計画は、前計画の基本理念である『ささえあい みんなで育てる この地域』を受け継いでおり、「住民主体の福祉のまちづくり」に向けて地域福祉を推進していくこととしています。「ボランティア活動の推進」、「見守り活動の推進」、「相談支援体制の強化」を重点事業とし、住民や関係機関・団体との協働により計画の達成に向けて取り組んでいきます。

3 指定管理施設の運営及び方針決定

多治見市との協定内容を遵守するとともに指定管理施設のサービス向上を図り、市民やボランティア、福祉団体の方々が安心して安全にご利用いただけるよう施設運営を行っていきます。
また、次年度早々には指定管理施設の公募が行われることが想定され、本会としての方針を今年度中に取り決め、指定管理施設を目指す施設については選考されることとなるよう提案内容を検討し、事業計画書を提出していきます。

4 優が丘ホームの建設及び運営

新たな共同生活施設を整備し、必要な支援を受けながら、住み慣れた地域で安心して生活することができるよう、利用者やその家族の要望や期待に応えながら、事業を進めていきます。また、体験利用を設け、入所を検討する障がい者の希望に応じて、宿泊を伴う利用への不安解消や共同生活の適応訓練など、将来的に利用できるよう支援します。

5 災害に強いまちづくり

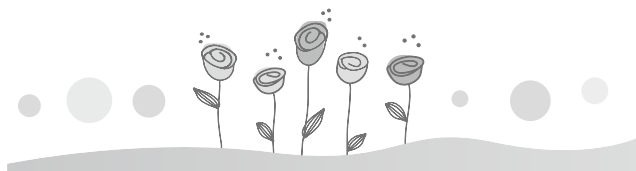
昨年は、地震や豪雨などの自然災害による被害が全国いたるところで発生し、世相を表す漢字は「災」となりました。災害が発生した場合の共助の体制づくり（要援護者の見守り、被災者に対する生活支援等）は、日常のコミュニティワークとつながるものであり、防災・減災に向けた啓発に取り組むことにより、市民の関心を高めていきます。

収入内訳と事業種別支出内訳

※単位:千円

収入	会費収入	12,392
	寄附金収入	908
	経常経費補助金収入	4,850
	受託金収入	451,855
	貸付事業収入	250
	事業収入	12,865
	介護保険事業収入	484,451
	保育事業収入	207,541
	就労支援事業収入	11,325
	障害福祉サービス等事業収入	155,140
	福祉推進事業収入	33,765
	受取利息配当金収入	1,015
	その他の収入	5,148
	施設整備等補助金収入	26,500
	積立資産取崩収入	88,530
	拠点区分間繰入金収入	154,897
	サービス区分間繰入金収入	55,589
	その他の活動による収入	9,510
	前期末支払資金残高	64,425
	合 計	1,780,956

支出	人件費支出	1,135,706
	事業費支出	173,976
	事務費支出	154,599
	就労支援事業支出	11,570
	利用者負担軽減額	29
	その他の支出	3,279
	流動資産評価損等による資金減少額	12
	設備資金借入金元金償還支出	1,190
	固定資産取得支出	70,454
	積立資産支出	17,855
	拠点区分間繰入金支出	154,897
	サービス区分間繰入金支出	55,589
	予備費支出	1,800
	合 計	1,780,956



2019年度 社会福祉協議会の主な事業

◆法人運営管理

企画総務課

- ・給与体系の見直し
- ・優が丘ホーム建設に向けた整備
- ・安全な施設管理

地域福祉課

- ・ボランティア活動の推進
- ・見守り活動の推進
- ・相談・支援体制の強化



◆児童福祉、子育て支援

保育園 (若草・池田)

- ・安心安全な保育の充実

母子・父子 福祉センター

- ・学習支援事業の充実

児童館/ 児童センター

- ・子どもの健全育成とボランティアの育成

発達支援センター (なかよし・ひまわり)

- ・保育所等訪問支援事業

◆介護保険、高齢者の福祉

ヘルパーステーション (訪問介護事業)

- ・安定的な運営
- ・ホームヘルパーの質の向上

デイサービスセンター (通所介護事業)

- ・安定した事業運営
- ・事業基盤の新たな展開

ケアプランセンター (居宅介護支援事業)

- ・ケアプランの適正な作成と管理
- ・介護支援専門員としての資質の向上

地域包括支援センター

- ・地域包括ケアシステムの強化
- ・総合相談支援業務

老人福祉センター

- ・介護予防教室の充実

◆障がい者の福祉

障害者福祉センター

- ・PRによる新規利用者の発掘促進

優が丘

- ・安定した作業と工賃の確保

なごみの杜かささら

- ・地域に開かれた施設運営

グループホーム (共同生活援助)

- ・共同生活援助事業

ヘルパーステーション (訪問介護事業)

- ・安定的な運営

障がい者相談 支援センター

- ・障がい者相談支援





収集ボランティア 始めてみませんか??

収集ボランティアは、不要になった「使用済み切手」や「書損じハガキ」を集めて収集団体に送ることで、社会福祉に役立てる活動です。

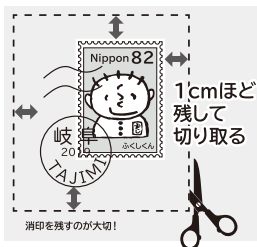
「ベルマーク」は、仕分けされた後に、ベルマーク財団を通じ幼稚園・保育園・小学校・中学校で使用する教材や備品に変わります。

家庭や学校、職場などで誰でも手軽に始めることができるボランティア活動です。

社会福祉協議会で集めているのは、3つ!!

古切手回収

① 1cm 残して切り取ります



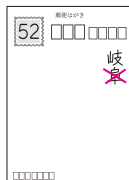
② 買取り業者へ送り、換金されます



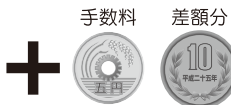
※換金し地域福祉事業に活用します。

ハガキ回収

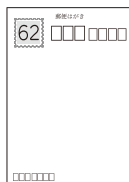
① 書き損じや印刷ミスになったものを集めます



② 交換手数料を支払います



③ 新しいハガキに交換されます



交換

※新しく交換されたハガキは地域福祉事業に活用します。

ベルマーク回収

① 対象商品に貼ってあるマークを切り取って集めます



② 仕分けボランティアが仕分け・計算します



③ ベルマーク財団を通じ、学校など教育施設が教材などを購入します



※市内の幼稚園、保育園または小中学校へ配分します。

ペットボトルのキャップ回収は、3月31日をもって終了しました。

問い合わせ 多治見市ボランティアセンター 電話 (25) 1134 〈担当〉大村

ボランティア団体 活動紹介

手話サークル桔梗の会



初級コース活動の様子

昭和54年に、手話を通じ聴覚障がい者とのコミュニケーションを図りながら社会参加の支援をすることを目的に設立され、約40年間活動をしている団体です。

現在の会員数は、約60人です。会では聴覚障がい者を講師に初級・上級に分かれ手話の勉強会をしています。会員は、手話の普及に努めています。

活動日 夜の部 毎週水曜日 午後7時30分～9時30分
昼の部 毎週木曜日 午前10時～正午

活動場所 総合福祉センター(大平町)

第1回目 5月30日～7月18日 毎週木曜日 午前10時～正午 全8回
申し込みは、下記まで電話またはFAX(氏名、住所、電話番号を明記して送信してください。)

受講生募集中!!
初級手話講座
年2回開催(5月・10月)

活動に興味のある方は、連絡ください。

多治見ボランティアセンター 電話(25)1134 〈担当〉林

障害者福祉センターからのお知らせ

◆ 障がい者レクリエーション交流会開催のお知らせ

来て・見て
楽しんで…

日時 7月7日(日) 午前10時～午後3時(受付開始 午前9時30分)
場所 総合福祉センター(太平町) 4階 大会議室
内容 クイズ大会、ミニ運動会、ミュージックタイム ほか
参加費 無料 ※昼食が必要な方は500円実費負担で受付
 詳しくは、チラシおよびスマイル通信などでお知らせします。
 (募集期間は5月13日(月)～6月28日(金)です。)
 みなさんの参加をお待ちしています。



障害者福祉センター 電話 (25) 1131(代) FAX (25) 1132 (担当) 島崎

寄付報告 あたたかい善意をありがとうございました

※3月31日までの寄付を掲載
(順不同・敬称略)

事業基金(現金)

寄付者	金額(円)
岐阜県陶磁器デザイナー協会	20,000
ふれあいセンター 姫 老人センター利用者一同	5,157
河合 和衛	25,139
かさはら福祉センター カラオケ箱	31,812
東濃信用金庫	12,426
岐阜信用金庫 理事長 住田裕綱 ぎふしん愛の募金事務局	20,000
ユニ(株)「小さな善意で大きな愛の輪運動」ピアゴ多治見店	157,166
JU岐阜 東濃支部	14,068
(株)セキュリティハウス	50,000
匿名	50,000
匿名(未使用切手)	6,920

指定寄付(現金)

名前	金額	使用場所
匿名(クオカード)	3,000	南ヶアプランセンター
ありんこの会	11,335	優が丘

指定寄付(物品)

名前	物品名	数量	使用場所
匿名	チャイルドシート	1台	発達支援センターなかよし
浅井 季一郎	DVD	7枚	滝呂老人センター
宮坂 由紀子	足マッサージ器	1台	生活自立支援センター
匿名	スーツ	15着	
匿名	ネクタイ	2本	太平児童センター
匿名	ビーチボール	4個	
成 胡春	トミカミニカーおもちゃ	1式	旭ヶ丘児童センター
	プラレール・電車	1式	
井上 江美子	おもちゃ(プラレール、パズルほか)	1式	南郷在宅老人デイサービスセンター
第35区	絵本	9冊	
匿名	マッサージチェア	1台	かさはら福祉センター
笠原小学校	介助用 車いす	2台	
南ヶ丘中学校	車いす	1台	多治見市総合福祉センター
小泉中学校	車いす	3台	

物品総数 ※3月15日までに計算が済んだ寄付を掲載

物品名	数量
古切手	2,537.00 g
ベルマーク	21,418.60 点
書損はがき	164 枚

事業基金(物品)

寄付者	物品名	数量
匿名	食品(調味料、レトルトカレーほか)	1式
KEIZ 多治見店	お菓子	8箱
匿名	白米	5kg
匿名	タオル	27枚
	箱ティッシュ	13箱
匿名	パット	4袋
	リハビリパンツ	2袋
	パジャマ	2着
	下着	8着
匿名	おもち	2袋
	靴下	4足
	カップラーメン	4個
	スープ	2箱
	調味料	4点
	お菓子	2個
匿名	おもち	1kg
	お米	5kg
匿名	婦人物パジャマ	2着
	防水シート	4枚
	あんしん尿取りパット	1袋
匿名	紙オムツ	1袋
	食品	5点
匿名	調味料	1点
	食品(ごはん、缶詰 ほか)	多数
匿名	柔軟剤	7本
	ボディシャンプー	2個
	シャンプー	1個
	衣料用漂白剤	2個
	浴室洗剤	3個
	タオル	多数

古切手、ベルマーク、ペットボトルのふたなどのご寄付をいただいた方

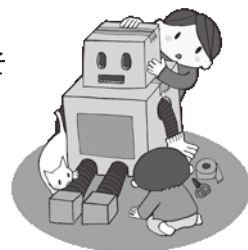
名前			
大形 佳弘	岩井 繁	三菱UFJ銀行 多治見支店	やこ&もこの家
ありんこの会	東濃信用金庫	生長の家	多治見おやこ劇場
サンホーム滝呂利用者一同	キラリ会	奥村 セツコ	セルポート
脇之島公民館	北村 東記江	匿名(25件)	

福祉行事の案内

母子・父子福祉センターからのお知らせ

● はじめてのプログラミング体験 ～世界にひとつ！ 自分だけのロボットを作って、動かしてみよう～

日 時 6月30日(日) 午前10時～正午(受付 午前9時40分～)
 場 所 総合福祉センター(太平町) 4階 会議室
 内 容 段ボールロボットを組み立てて、タブレットを使ってロボットを動かそ
 対 象 市内在住のひとり親家庭の小学生、中学生 30人
 参加費 200円
 持ち物 筆記用具、飲み物
 協 力 NTTドコモ 東海支社
 申し込み 5月8日(水)～5月31日(金) ※先着順
 詳細は社協たじみのホームページまたは、直接下記まで問い合わせください。



● 同時開催 保護者向けプログラム 『スマホ・ケータイ安全教室』

子どもがスマートフォンを使ったり、オンラインゲームをしたりすることに不安はありませんか？
 これから子ども用のスマートフォンの購入を考えている方も、すでに使わせている方も、
 役立つ情報が盛りだくさん！
 後半は子どもたちのプログラミング体験の様子を参観していただけます。



● 座って生き生き体操 ～運動不足解消！座って楽しくできる体操教室～

日 時 6月13日(木) 午後1時30分～3時
 場 所 総合福祉センター(太平町) 4階 大会議室
 講 師 上杉 恵美 先生 対 象 市内在住の寡婦、またはひとり親家庭の親
 定 員 20人程度 参加費 100円
 持ち物 運動できる服装と靴・飲み物・タオル 申し込み 5月13日(月)～ ※先着順



上記すべての
問い合わせ・申し込み

母子・父子福祉センター 電話・FAX(25)1133
メール boshi@t-syakyo.or.jp 〈担当〉藤井

受動喫煙の防止について考えてみましょう

多治見市では「たじみ健康ハッピープラン」を推進することで、市民が健康でいきいきと幸せに暮らすことができるまちを目指しています。社会福祉協議会では受動喫煙対策を推進しています。

受動喫煙は、タバコから出る煙を周りの人が吸うことで周りの人の健康を害します。みなさんも受動喫煙につながらないように、禁煙・分煙に取り組んでみましょう。

ちなみに…

タバコを吸う夫の妻の肺がんリスクは1.3倍、同居する子どもの尿からもニコチン代謝物が検出されるというデータもあります。家族のためにも、受動喫煙について考えてみましょう!!



市内すべての公共施設は、敷地内禁煙です。

受動喫煙防止啓発ロゴ

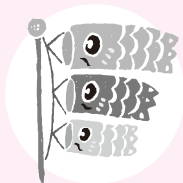
子育て支援センター情報 ～行事案内～

詳細は問い合わせください

池田保育園子育て支援センター 池田町3-120 電話(24)7117

● こいのぼりを作ってあそぼう

日時 5月13日(月)
午前10時30分～11時15分
場所 池田保育園
内容 こいのぼりを作って、みんなであそびましょう。
対象 未就園児親子 15組
持ち物 お茶
申込必要



● ママビクス

日時 5月17日(金) 午前10時30分～11時15分
場所 池田保育園
内容 講師を招いて行います。エクササイズで楽しくシェイプアップ&ストレス発散をしましょう。
対象 未就園児親子 15組
持ち物 お茶、室内シューズ、タオル
参加費 300円
申込必要



笠原保育園子育て支援センター 笠原町1974-1 電話(44)1971

● きらきらサーキット週間

日時 5月20日(月)～24日(金)
午前9時30分～11時
場所 笠原保育園 2階 きらきらルーム
内容 コンビカーやショベルカーなどの車に乗って遊びます。
※ルーム半分はいつものように自由に遊べます。
申込不要



● おおきくなったかな？

日時 5月7日(火) 午前9時30分～10時30分
場所 笠原保育園 2階 きらきらルーム
内容 身長、体重を測って毎月カードに記入していきます。
(寝て測る身長計、体重計もあります)
対象 未就園児親子
申込不要



共栄保育園子育て支援センター 高田町3-64 電話(23)2199

● リトミック



日時 5月20日(月) 午前10時～11時15分
場所 共栄保育園
内容 ピアノのメロディーにのせて身体を動かして遊ぼう。講師は「虹の会」の先生です。
対象 未就園児親子 20組
持ち物 汗拭きタオル、飲み物、動きやすい服装
申込必要 4月22日～定員になり次第締切

● お父さん、お母さんといっしょに遊ぼう

日時 5月25日(土) 午前10時～11時15分
場所 共栄保育園
内容 新聞紙で遊ぼう。ビリビリ破いたりグルグル丸めたり遊び方無限大!
対象 未就園児親子 10組
持ち物 汗拭きタオル、飲み物
申込必要 4月25日～定員になり次第締切



5月の相談日

ひとりで悩まないで…相談日一覧

みなさんの悩みごとに、専門の相談員がお話を伺います

相談の種類	日にち	時間	場所/総合福祉センター	問い合わせ
民生委員の気軽に相談 ☎	13日・20日(月)	午後1時～3時	4階 相談室	(23) 5115
法律相談 (予約制)	15日(水)	午後1時～3時	4階 相談室	(25) 1131
	【予約受付日】 8日(水) 午前8時30分～			
障がい者相談 ☎	月曜日～金曜日	午前9時30分～午後3時30分	2階 障害者福祉センター	(25) 1131 障害者福祉センター(内210)
高齢者就業相談 ☎	10日(金)	午後1時30分～3時	4階 相談室	(25) 1131 老人福祉センター(内301)

※相談は無料です。☎マークの相談は、上記の日時で電話相談ができます。※祝日の相談は休みです。

“災害に強いまちづくり”に向けて！

東濃五市の社会福祉協議会では、大規模な災害時に広域で被災者を支援するため、3月28日に災害時相互支援に関する協定を結びました。

多治見市社会福祉協議会は災害時において、ボランティア活動がスムーズに行われるよう多治見市と協力して「災害救援ボランティアセンター」を設置し、その運営を図るなど重要な役割を担っています。

しかし、近年の災害は大規模化や広域化しているため、職員の派遣や災害救援ボランティアセンターの運営に必要な資器材の斡旋など、必要な事項を締結することで、より迅速にみなさまの生活を平常化させることに取り組むことができます。

これからの社会福祉協議会がすすめる「災害に強いまちづくり」にご期待ください！



協定式典での記念撮影の様子

養正地域福祉協議会(養正校区)の紹介

身近な地域の福祉活動を担う『地域福祉協議会』は、「地域の福祉課題に、自ら取り組み、解決していこう」と、地域住民で組織されています。活動は、小学校区を基本に、その地域の課題に合わせて活動しています。

今年度の主な活動

- ・福祉相談窓口(なんでも福祉相談)
- ・関係団体連携事業(講演会など)
- ・高齢者支援事業(ひまわりサロンの運営など)
- ・アンケート調査や広報紙の発行(地域情報収集・発信) など



養正元気が出る講座

- ・あなたの血管年齢はいくつ？血管は若返る
- ・知っておきたい介護のこと
- ・体力はいくつ？貯筋の勧め
- ・認知症サポーター研修

今年も4講座を実施します！！



歴代区長との交流会

養正地域福祉協議会と青少年まちづくり市民会議との連名で養正地域歴代区長経験者と交流会を開催し、現在の活動報告及び、今後の協力を要請・意見交換を行いました。

問い合わせ 養正地域福祉協議会 本町5-9-1(陶都創造館内) 電話(26)9116 FAX(26)9106

社会福祉法人 多治見市社会福祉協議会とは

社会福祉活動を推進する営利を目的としない民間組織です。地域住民、福祉施設・団体、関係機関とともに、地域の人々が住み慣れたまちで、安心して生活することができる「福祉のまちづくり」の実現を目指し、さまざまな活動に取り組んでいます。これらの活動には皆様からお寄せいただく会費を活用しています。

※社会福祉法人＝社会福祉事業を行うことを目的として、社会福祉法の規定により設立された法人。公共性が極めて高く、営利を目的としない民間の法人。

社協たじみ

メールマガジンの登録案内

イベント情報など、福祉に関する身近な情報を配信

▶登録フォーム

<http://t-syakyo.or.jp/acmailer3/form.cgi>

